

この1本が ゴルフを創る



Dynamic
Driving
&
Accurate
Shot

SYB

ゴルファーが振っているのは重さです。

ゴルファーが振っているのは紛れもなくゴルフクラブですが、それは同時に重さでもあります。ヘッドの重さ、シャフトの重さ、グリップの重さ、それらを組み合わせたものがゴルフクラブの正体であり、それぞれのパーツの「重さのコンビネーション」によりスイングテイスティは変わってくるのです。だからこそ、ゴルファーはもっと重さに神経を使わなくてはなりません。ドライバーは好調だけど、アイアンが悪い。あるいは、フェアウェイウッドだけがうまく打てない。そんな悩みは14本の中で重さのバランスがとれていないことが原因であることをよく見かけます。ですから私たちは「重さ」を重要な要素だと考え、その認識に基づいたクラブ創り、およびフィッティングを行っています。

番手/ロフト	シャフト/硬さ	長さ	価格
--------	---------	----	----

■ドライバー

PRELITY 7

--	--	--	--

■フェアウェイウッド

FC-714

--	--	--	--

W422V

--	--	--	--

■ユーティリティ

EZ-108

--	--	--	--

EZ-209

--	--	--	--

■PIARM II

--	--	--	--

■アイアン

FC-701

--	--	--	--

■ウェッジ

CP WEDGE 4

--	--	--	--

備考欄

日付	会場	担当
----	----	----

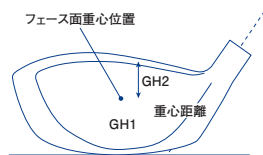
コンセプト株式会社 ●住所 / 〒335-0013 埼玉県戸田市喜沢1-23-6
●電話 / 048-299-7799 ●ファクス / 048-299-7758

カタチには意味がある 数字には裏付けがある。

ゴルフクラブはゴルファーの感性に応えるものでなければなりません。そのために重要なのがカタチでありスペックです。構えたときにイメージが出るフォルム。振ったときイメージ通りに動く重心設計。つまり、意味のあるカタチを造り、数字で裏付けることが、信頼できるクラブを生み出す秘訣だとわたしたちは考えます。

クラブ各部の主な名称と測定方法 最適なクラブ選びの一助となるよう、クラブの基本用語をご紹介します。

Wood



ロフト角(リアルロフト)

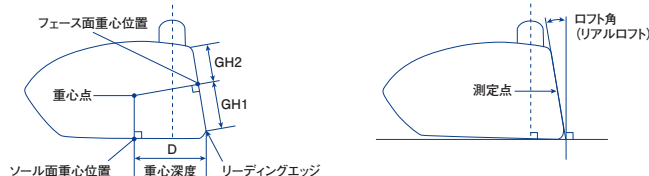
ライ角を合わせてシャフトを地面に対して垂直に固定し、フェース角が0度になるようにセット。シャフトの軸線に対するフェースの上向き角度を測ります。

フェース角

アドレス時、目標に対するフェース面の向きを表す角度。ライ角を合わせ、シャフトを地面に対して垂直に固定し、ソールを地面に接地させて測定します。0度ならスクエアフェース、-ならスライスフェース、+ならフックフェース。

GH-1

フェース面上の重心位置からリーディングエッジまでの距離。



GH-2

フェース面上の重心位置からフェース上端までの長さ有効打点距離。GH-2が長いと打ち出されたボールのスピンは少なくなり、短いとボールのスピンは多くなる。一般的には、飛距離を求めるならGH-2が長めの低重心モデル、安定性を求めるならGH-2が短めで重心高めのモデルがよいとされます。

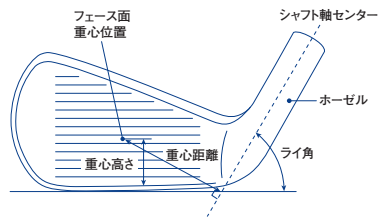
重心距離

ヘッドの重心からシャフトの中心線までの垂直距離。長いほどインパクト時のスピードはアップしますが、シャフト軸を中心とした慣性モーメントが大きくなるため、ヘッドは返りにくくなります。

重心深度

リーディングエッジからヘッド重心までの長さ。一般的には深いほどスイートエリアが広くなります。またインパクトロフトが多くなり、打ち出し角も高くなります。

Iron



重心高さ

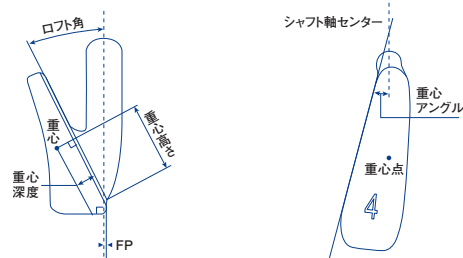
クラブヘッドの重心の位置。アイアンは重心が低いほどボールが上がりやすく、スピんがかかりやすくなります。逆に重心が高いほど打ち出し高さは低くなり、スピんがかかりにくくなります。

重心距離

ヘッドの重心からシャフトの中心線までの垂直距離。短いものはフェースが返りやすく、操作性に富みます。長いものはリストワークが使いづらいですが、スイング軌道は安定しやすく、スピん量が増えるためボールは上がりやすく、かつ止まりやすくなります。

重心アングル

シャフト中心線の延長と、ヘッド重心との間にできる角度。数値が大きいほどインパクトでフェースが返りやすいため、ボールを捕まえやすくなります。



重心深度

フェース面からヘッド重心までの深さ。一般的には深いほどスイートエリアが広くなります。またヘッドの縦方向の慣性モーメントが大きくなるため、インパクトロフトが安定し、ボールが上がりやすくなります。

フェースプログレッション

フェース角を0度にした時のシャフト中心線の延長線とリーディングエッジまでの水平距離。数値が小さいほどボールが捕まりやすく、大きいほどボールが上がりやすくなります。